



・発行日  
52・6・8  
・発行  
岡崎市AVL  
・編集  
広報委員会

放送教育研究指導会

テレビを使った授業の研究

去る五月二十四日（火）連尺小学校では、大阪大学より水越敏行先生を講師にお願いして放送教育研究への指導会が開かれた。

午前中二時間は、連尺小学校のテレビを使った社会科・理科・道徳の研究授業。

午後からは、授業についての研究協議と愛宕小学校、竜海中学校の研究内容を中心とした全体協議会が開かれた。

道徳の授業に関連した問題として、①視聴後の番組内容のなぞりについて、②視聴後の話し合いの深め方について、③書き込み指導案についての三点がだされた。

①のなぞりについては、その方法として、番組の大事なシーンを段落を追って板書しながらまとめていくもの、登場人物の行動や心の動きを

中心に話し合いながら板書してまとめていくものなどがある。こうしたなぞりは、映像段落の確認をするためのものであり、テレビ視聴に慣れない初期段階の子どもたちには、やらせてもよいのではないか。

②の話し合いの深め方については、登場人物の中で問題にすべき人物の動きにポイントをおくことまた、テレビで道徳をやるのではなく、そのゆきぶり効果を生かして、子どもたちの現実の問題として話し合いを深めさせるべきである。

③の書き込み指導案については、番組視聴の反応を見ながら授業を展開していくやり方で、その試みは、放送をとり入れた学習のあり方として興味深い。指導案の形式については、研究の余地がある。

理科の授業に関連した指導としては、TVからの理解は、共通理解であつて、そこからどのような発展させるかということが大切なことである。しかし、学び方を学ばせるということであれば、番組でおこなった実験をもう一度教室でやつてみるのも、その取り扱い方次第では有効に働く。

テレビの実験から一歩は出した発展的な実験を目ざすことは当然である。なお、番組の利用では、単元の導入部分で使う方が有効な場合が多い。

愛宕小学校研究の柱

本校では、TVから「学び方」を学び「学習意欲」を向上させる中で自ら学ぶ力が育つていくという仮説を検証するために実践研究を進めている。本年度は、次の三つを研究の柱として、さらに研究を発展させている。

一、道徳性を高める親子同時視聴

家庭での道徳指導が稀薄であるという現実認識に立ち、親子で話し合う共通の場をTVに求めたTVは、どこにいても同時に視聴できるという特性があり、道徳番組を親子同時視聴することで、道徳性の高まりが期待できるのではないかと。

二、放送学習による自ら学ぶ力の育成（視聴カードの指導を通して）—社会

TV視聴カード記録の段階で個人指導を徹底し視聴能力の向上を図ると共に、社会科の学び方を体得させていきたい。また、よく記録された、視聴カードの発表の場を設けて学習意欲向上に役だてたい。

三、TV視聴を生かした福科学習  
自分達でTV実験の方法と結果を吟味し、それを素材として準備し、結果がTVと同じになるかどうか検討する。その中で、学び方を身につけ、学習意欲が向上し、自ら学ぶ力が培われるのではないかと。

A V 豆知識

OHPはこう使ったら

OHPは、①ことば中心で説明しにくいとき、OHPで図式化した映像を提示して理解を容易にしたいとき、②事柄の推移をわかりやすく説明するとき（移動・グラフ 二種以上の変化の様子と比較等）などが、主な使用法だろうと思われませんが、この他に、(A)偏光板を利用して静止の部分と動きの部分を組み合わせて理解を容易にするとき、(B)ロールシートを利用して、OHP式紙芝居をつくるなどという方法はどうか。(S)

ライブラリーだより

カラーテレビカメラ 三台購入  
カラーカメラ（ソニーDXC-1300）三台を  
購入しました。使用講習会実施後、一般貸出しを  
する予定です。